

# 環境への取り組み

NECは、事業活動に伴う自社の環境負荷をサプライチェーン全体で削減することはもとより、お客さまに提供するソリューションを通じて、環境面からの社会価値創造に取り組んでいます。

## NECの環境経営、環境に対する責任

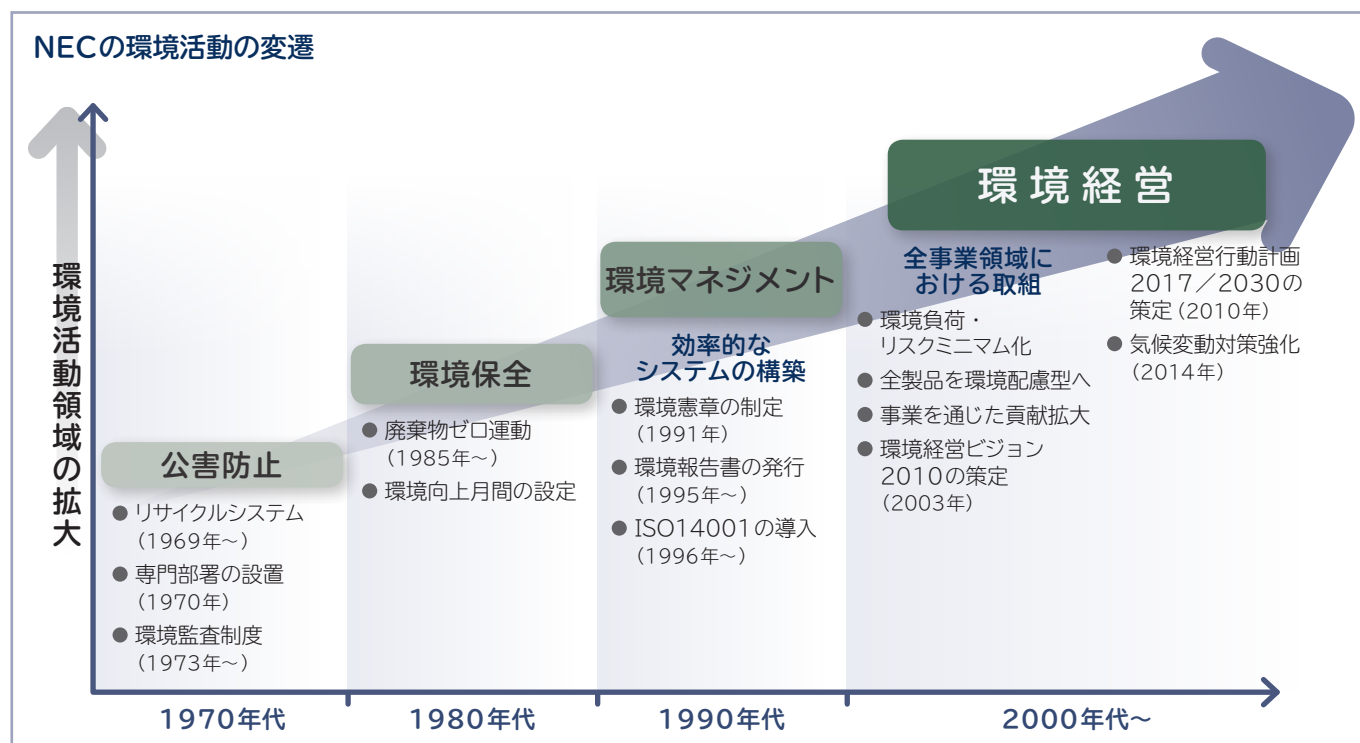
2015年、地球環境保全に関連する2つの世界的な決定がなされました。一つは国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」で、もう一つは「国連気候変動枠組条約第21回締結国会議 (COP21)」でのパリ協定です。これらの目標の達成には、経済と地球環境との両立が不可欠であり、NECが注力する

「環境経営」の真の目的も、世界のさまざまな課題を解決し、社会を発展させていくことにあります。当社は、SDGsや気候変動対策など世界が目指す目標に対し、最大限に活用したソリューションを創出することで、「安全」「安心」「効率」「公平」といった価値を提供し続けていきます。

## 進化を続けるNECの環境経営

当社の環境活動は、環境専門組織を設置した1970年から本格的に始まりました。当時の社長自らが環境に対する企業の責任を強く認識し、当社が為すべきことを真摯に取り組んでいくことを社内外に宣言し、活動を開始したもので、企業の中では先進的な取り組みだったといえます。以来、当社は、常に一步先を見据えることを心がけてさまざまな活動に取り組んできました。

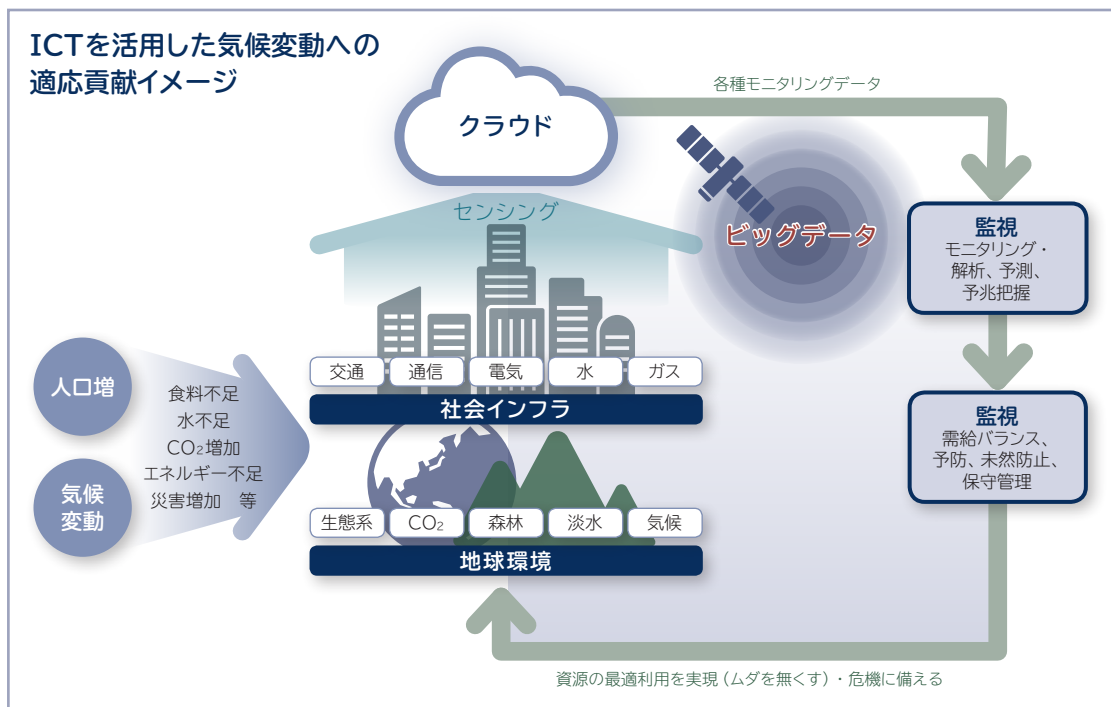
2003年に発表した「環境経営ビジョン2010」では、環境に特化したビジョンを打ち出し、ICTが社会全体からのCO<sub>2</sub>排出削減に貢献できることを訴求してきました。2009年には、生態系・生物多様性や資源循環・省資源を含めた取り組みへと拡大し、2014年からは気候変動対策の強化を目指した長期目標を策定するなど、事業と一体となった環境経営を進めています。



## 「緩和」と「適応」の両面から気候変動対策を実施

当社は、NECならではの技術やソリューションによって、どのような社会価値を提供できるかを検討し、従来の「緩和」を中心とした環境経営を一層強化するとともに、前年度から気候変動への「適応」をNECの環境経営の柱の一つに加えました。地球環境や社会インフラなどあらゆるものから、刻々と変化する状況をデータで集め、ビッグデータ解析により、その

後に起こる大きな変化を予測し、適切な対策を導くことを支援することで、安全・安心な社会の実現に貢献できると考えています。CO<sub>2</sub>排出削減を実現する「緩和」を一層進める一方で、社会ソリューション事業を通じて「適応」での貢献を進めることで、気候変動という世界的な課題ハートタルに価値を提供しています。



## 環境経営の進捗

IoT普及に伴う物流の効率化や需給精度の向上による廃棄ロスの削減など、社会全体の環境負荷の削減がこれまで以上に進み、「緩和」面での大きな成果につながっています。また、世界トップクラスの省エネ性能を実現した神戸データセンターを立ち上げ、次年度から稼働を開始することで、ICTの利用に伴う消費電力は、今後さらに削減されます。

一方、「適応」面では、気候変動に伴い深刻化する災害対策として、アジアを中心とした防災システムの導入を進め、安全・安心に暮らせる社会づくりに貢献しています。加えて、複雑で大規模なシミュレーションを高速に行うことが可能なベクトル型スーパーコンピュータ「SX-ACE」を活用することで、従来

では難しかった、地球環境問題の解決や地殻変動、地震発生機構の解明、自然災害の予測と対策などへの貢献が期待されています。これらの取り組みにより、「緩和」「適応」両面からの提供価値の拡大が順調に進んでいます。

また当社は、サプライチェーン全体の環境負荷の削減も進めています。例えば、当社玉川事業場の9号館リニューアルに伴い、省エネ・節電につながる最先端のICTソリューションを導入したことで、約50%の省エネ化を実現しました。さらに、この省エネノウハウを活かした取引先の省エネ支援や、ソリューションの提供をとおし、お客さまの環境負荷削減でも、着実に成果をあげています。